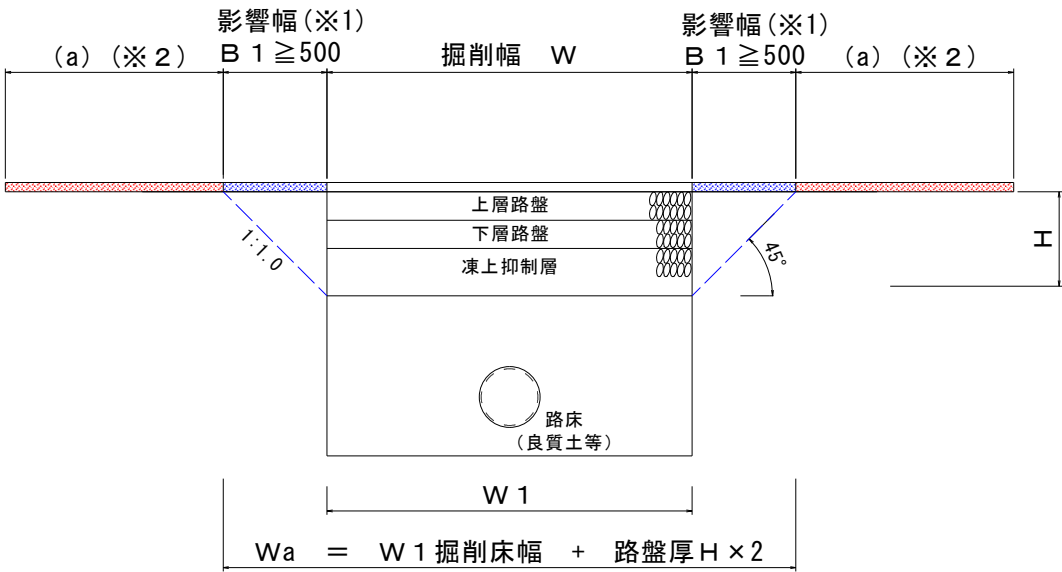
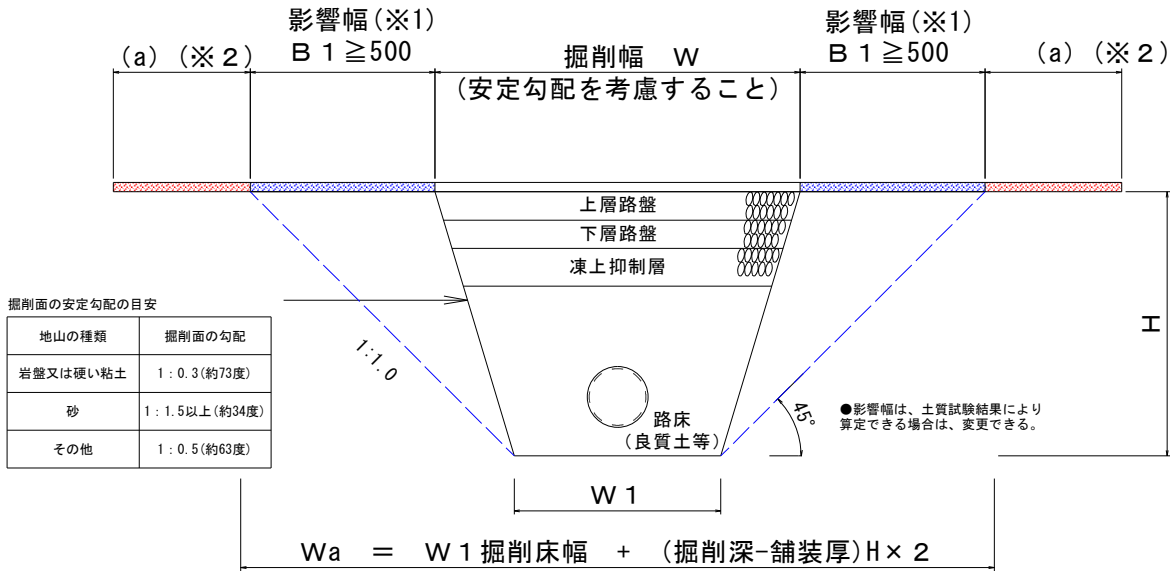


土留工法

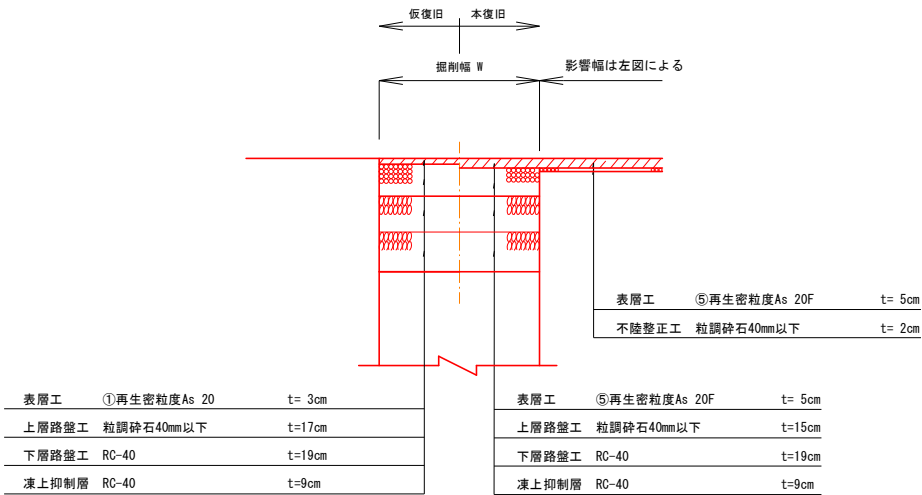


オープン掘削

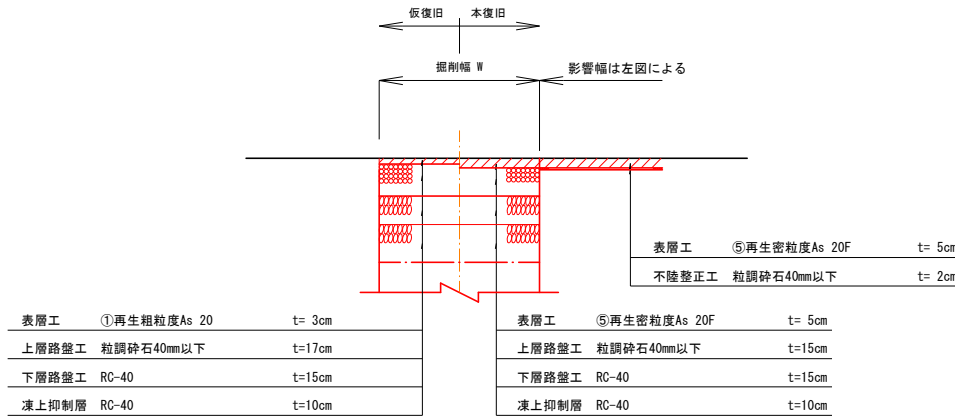


- ※1 施工から3年以内での工事の場合、影響幅は、1.0m以上とすること。
車道は1車線の舗装復旧
歩道は全面の舗装復旧とする。
- ※2 範囲(a)の考え方
影響幅部分の範囲から絶縁線(舗装目地等)までの範囲のこと。
- 絶縁線(舗装目地等)までの距離(a)が1.2m未満の場合、その範囲(赤色)を復旧すること。
 - a=1.2m以上の時は、影響部分(青色)までを本復旧の範囲とする。
ただし、影響幅部分(青色)に近接する範囲内にクラックや凹凸があり、振動、騒音等が懸念されると道路管理者が判断した場合は、その範囲までを復旧範囲とする。
 - 復旧範囲外においても、その工事に起因して舗装破壊等の影響が出た場合や影響があると道路管理者が判断した場合は、道路管理者の指示する範囲を復旧するものとする。

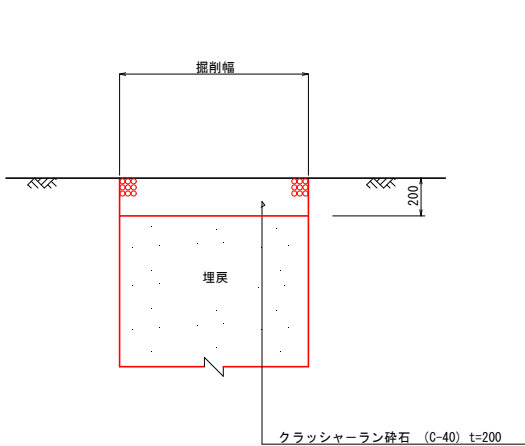
町道車道(車道幅員5.5m以上)



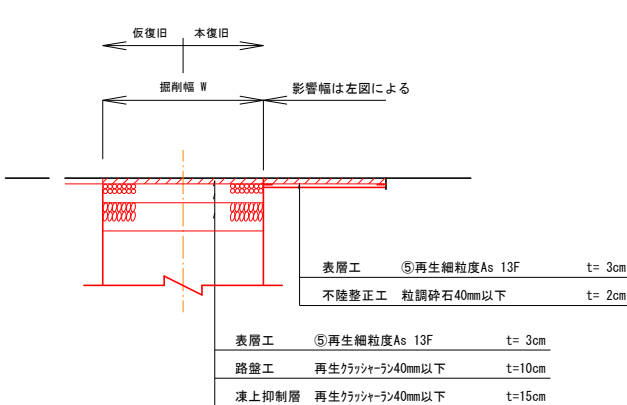
町道車道(車道幅員5.5m未満)



砂利道

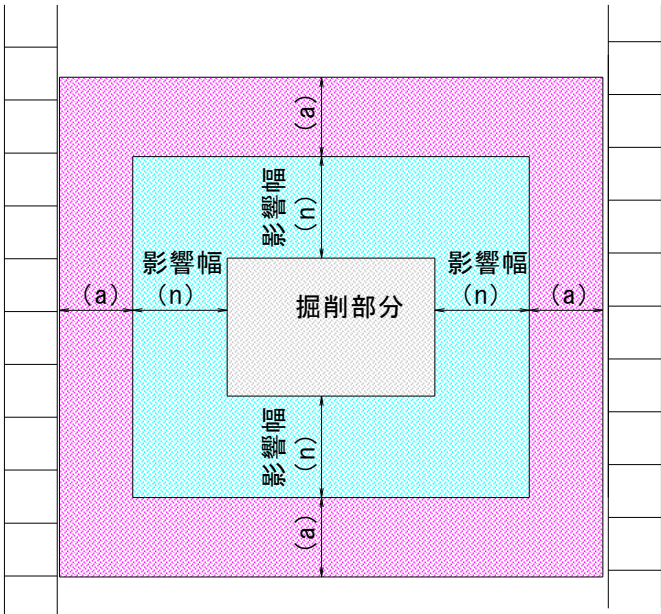


町道歩道



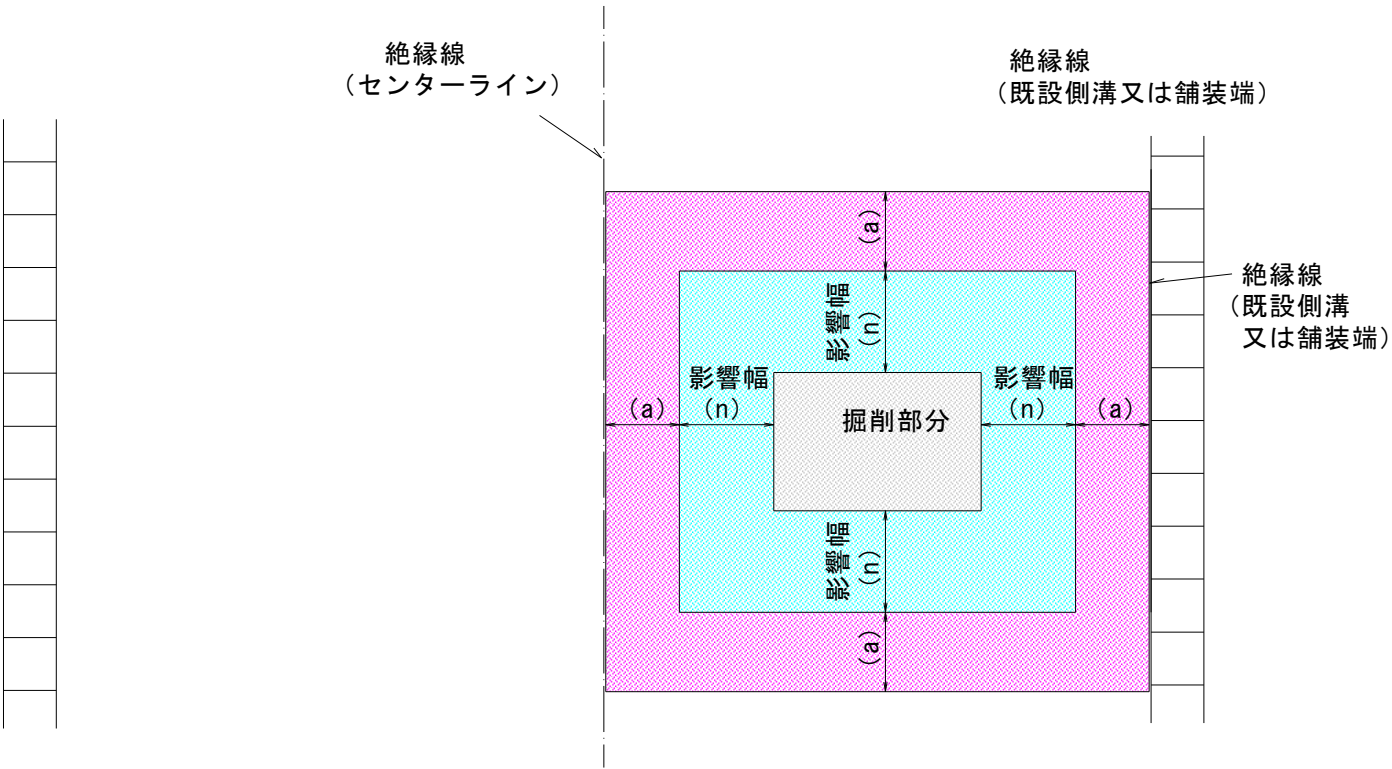
《1車線道路の場合》

平面図

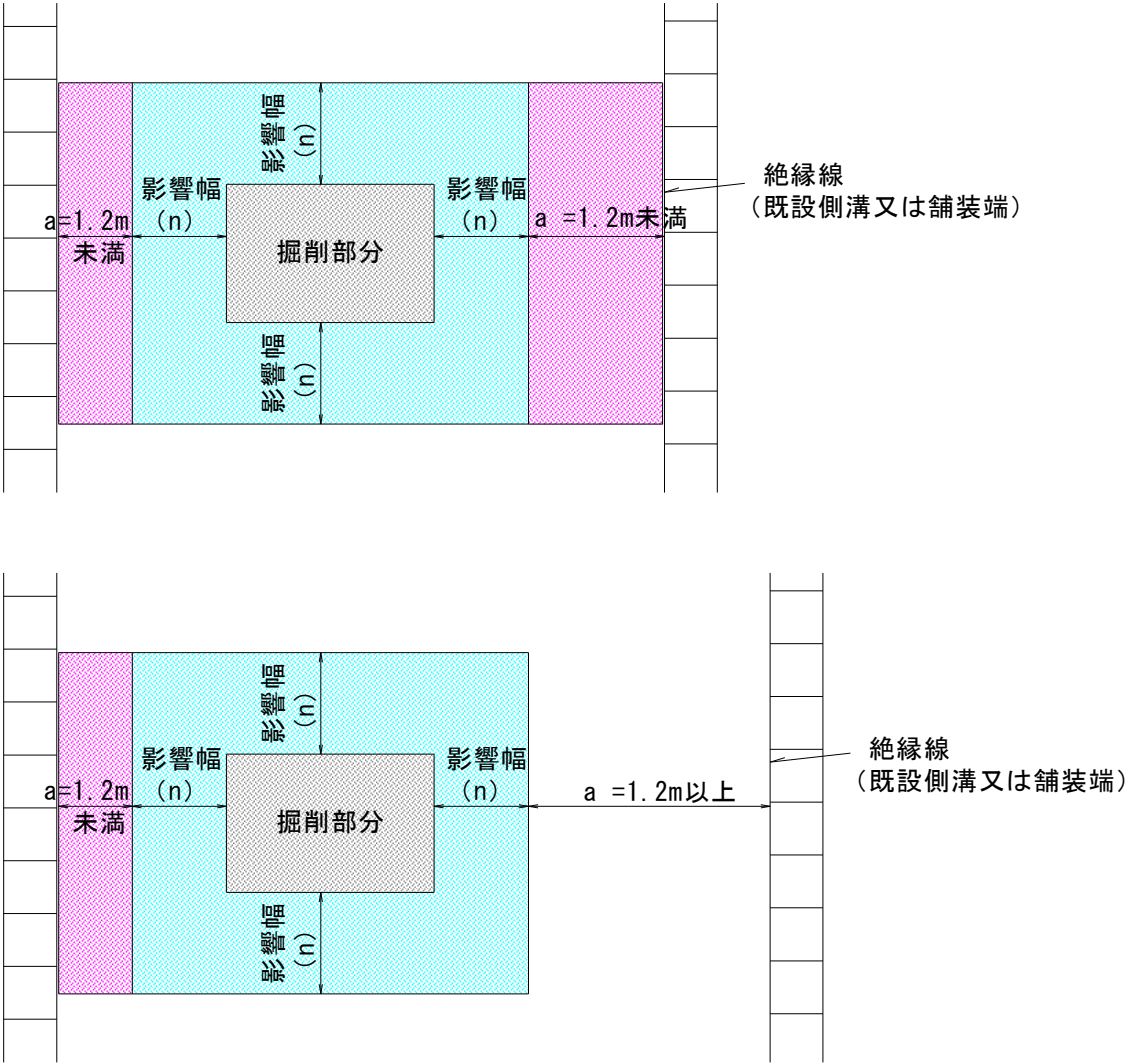


《2車線道路の場合》

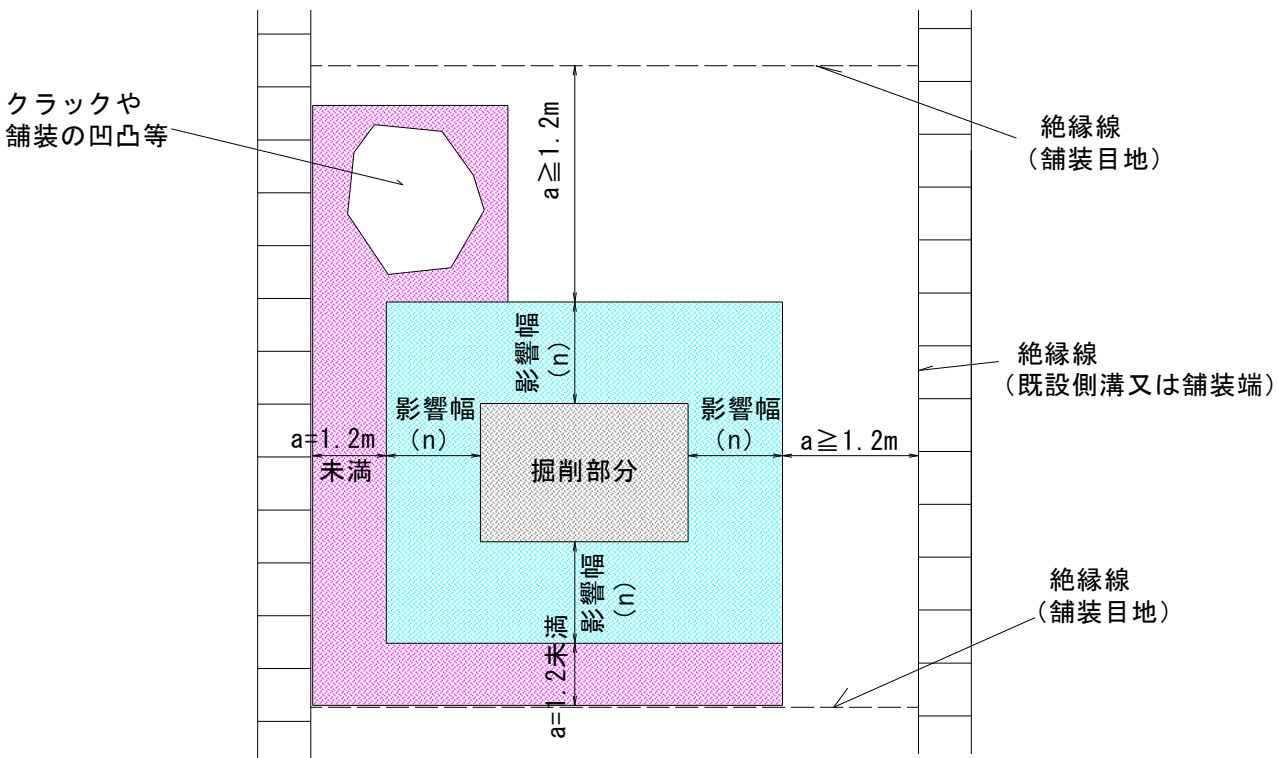
平面図



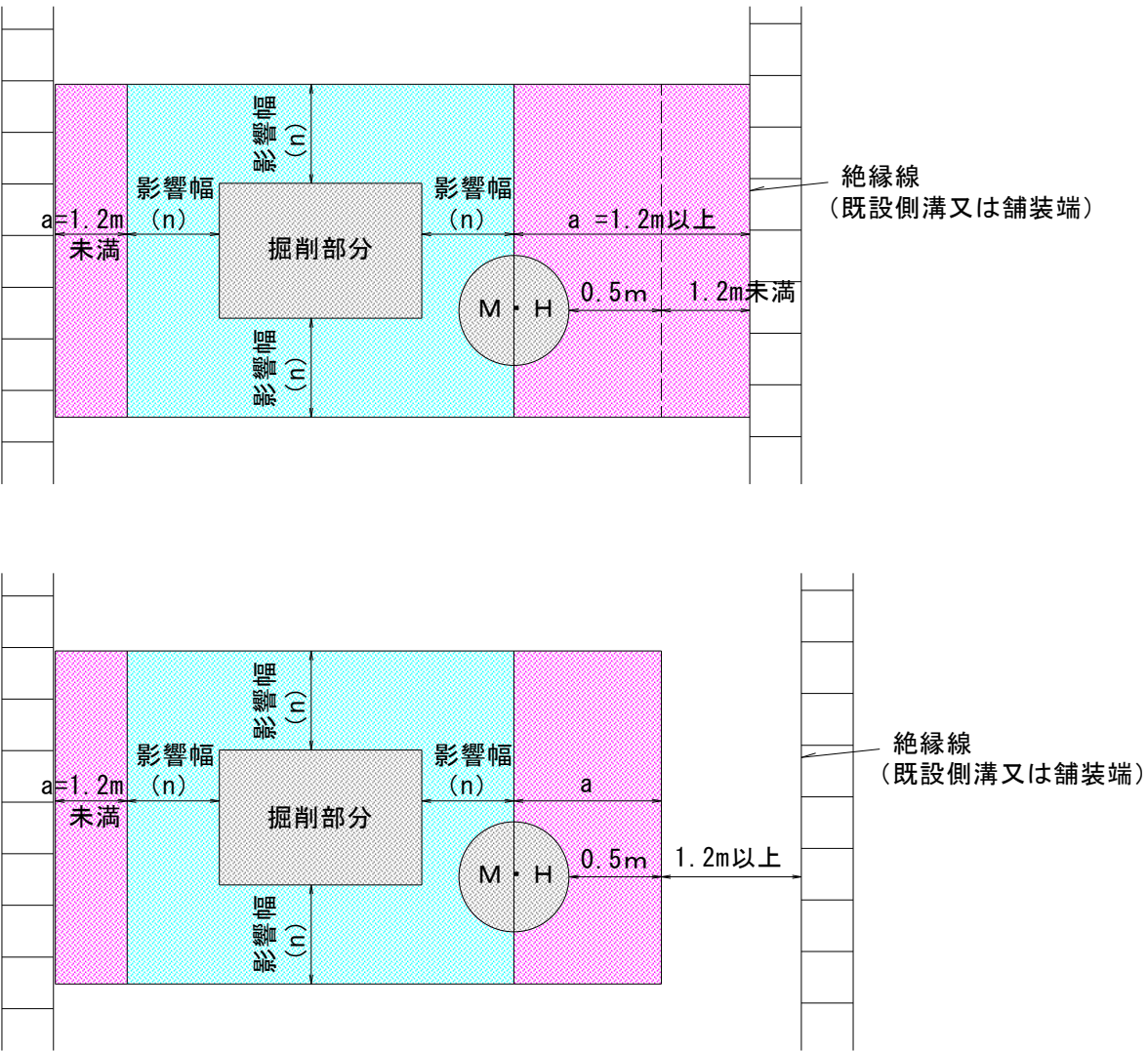
《 1 車線内での工事の場合 》



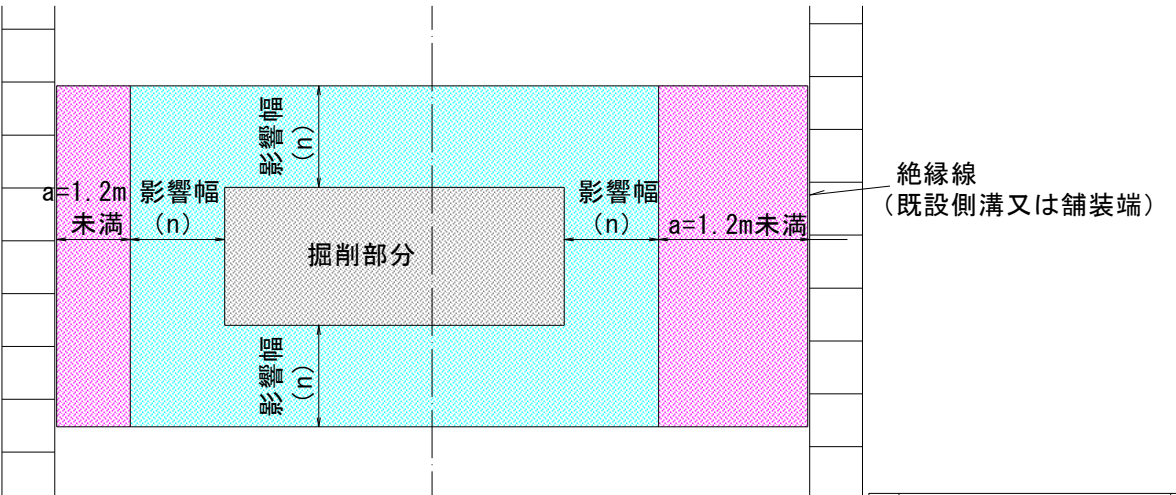
《 a = 1.2m 以上であるが、影響部分（青色）の近接範囲にクラック等が発生している場合》



《 影響幅内に構造物等がある場合》



《 車線を跨いで工事の場合 》



以下の場合、道路管理者と協議し決定すること。

- ・ 上図等の事象が混在する場合
- ・ 施工延長が長い場合や点在する場合
- ・ 施工中に沈下やクラックが発生した場合